

2024年4月19日

東京都知事
東京都教育委員会教育長
東京都議会議長

小池 百合子様
浜 佳葉子様
宇田川 聡史様

都立高校在京外国人の入試に関する要望書

東京の日本語教育を考える会 代表 中山真理子

貴職におかれましては、日頃より、外国につながる子どもの教育条件改善のためご尽力くださり、関係者一同感謝申し上げます。

コロナ禍による外国人の入国規制が解除されて以降、入国者が急増しています。これを反映し、2024年度都立高校入試における在京外国人枠では、受検者が大幅に増加し、大量の不合格者が出ました。今回は特にこの点について、緊急を要する問題についてのみ、以下要望致しますので、ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

【要望の主旨】

日本語の力が不十分な生徒を高校に受け入れ、十分に学べるための体制整備することは、すでに当然のことになっています。日本語を母語としない子どもたちは、適切な日本語・教科学習支援があればしっかりと学力を身につけられます。彼らが希望に満ちた高校進学を果たし、自らの力を存分に発揮し、社会にも貢献できるよう、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

【要望内容】

一、都立高校在京外国人入試対象高校を大幅に拡充してください。

2024年度の都立高校入試における在京外国人枠では、定員160名に対し、309名が応募し、149人が不合格になりました。応募倍率は、1.93倍です。これは、1校の定員を20人として、応募倍率1.2とするなら、あと7校は受け入れ校が必要だということを示しています。

- (1) 新規に7校程度の都立高校に在京外国人枠が必要です。
- (2) 都内のどこに住んでいても通学できるよう配置してください。
- (3) さまざまな特徴のある高校、入試難易度をもった高校にも設置してください。
特に在京枠入試が不合格になった生徒や来日3年を超えた生徒の多くが選択する3教科受検の三部制を含む定時制に在京枠を設置してください。受検倍率が低い定時制でも、学校が日本語指導の体制を整えるために、在京枠の高校にすることが必要です。

二、在京外国人入試の国籍要件をはずしてください。

日本語を母語としない日本国籍生徒は、現状では在京枠校を受検できません。特別措置と同様に、日本語指導を必要とする生徒のための特別枠入試として、国籍を問わず、日本語指導を必要とする生徒が受検できるよう、対象者を広げてください。

文科省の「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」によると、東京では、日本語指導が必要な中学生の約3割が日本国籍です。彼らは在京受検ができないために、多くが定時制高校に進学しています。

三、在京外国人入試/特別措置の受検資格起算日を、 来日/帰国3年3か月前の「1月1日」にそろえてください。

日本語や教科の支援は来日/帰国5～7年間程度は必要だとされています。しかし、特別入試/措置の滞り期間を延長するほど受検者数が増加します。今回は、緊急の対応措置を要望します。

来日年数の起算日をすべて「1月1日」にそろえてください。在京入試の起算日が3月1日、特別措置の起算日が3/6年前の4月1日という違いを解消してください。

首都圏の自治体では、神奈川県は2月1日起算で6年以内、埼玉県は2月1日起算で3年以内、千葉県は2月7日（出願日）起算で3年以内です。例年、4月に中学校入学す

の準備期間として年明けに来日したために在京入試を受検できないケースがあります。

四、在京外国人入試受検校希望状況を資格審査終了後すみやかに発表してください。

在京外国人入試の資格審査実施後、国際高校も含め、それぞれの資格審査終了後、できるだけ早く暫定値を発表してください。取り下げ・再提出の制度がない状況で、出願直前の発表では、受検校変更の準備ができません。

五、インターネット出願の多言語支援と、書類出願・持参を並行してください。

外国につながる生徒は、日本語による手続きの理解が大変困難で、日本人の支援者なしには対応できません。

- (1) 各高校名にひらがなのルビ、ローマ字表記を加えてください。
- (2) 「インターネット出願の利用の手引」を多言語で作成、配布してください。各高校のページから、やさしい日本語・多言語で手続きできるようにしてください。また、画面の外国語への機械翻訳の方法を示してください。
- (3) 紙の書類の作成・持参提出もできるようにしてください。

六、日本語を母語としない生徒の現状を把握し、高校の受け入れ体制を充実させてください。

- (1) 全都内中学校・都立高校に対して、日本語を母語としない生徒（外国籍および日本国籍）全員を対象とした実態調査を行って、現状を公表してください。
- (2) 外国につながる生徒が在京枠校並みに在籍する高校については、同様の体制整備をしてください。
- (3) 在籍学級での学習が日本語では困難な、国語科・地歴公民科・理科・保健などについて、取り出し授業の実施を推進し、担当する教員の研修を実施してください。

大量の在京入試不合格生徒は、在京枠がない都立高校に進学します。高校によっては、在京枠定員 20 人をはるかに超える外国につながる生徒を受け入れています。しかし、こうした高校では、支援の経験や体制が整っていません。在京枠が受検生に対して不足だった分の負担を受け入れる高校に対しての支援を早急に進めてください。